記者発表資料

平成２４年１２月　３日
北上川下流河川事務所

重要文化財「石井閘門」の補修に向けた調査
～１２年ぶりに閘門全容を確認します～

石巻市に位置する国の重要文化財「石井閘門」は、完成後132年（明治13年完成）が経過しており、長い年月による施設の老朽化に加え、昨年3月の東北地方太平洋沖地震及び津波により被災したことから、施設補修のための本格的な調査を行うこととしました。

今回、閘門内の水抜きを行い、普段は水に浸かっている部分も含め、全容調査を行いますのでお知らせします。前回調査は平成13年1月に重要文化財指定のための調査を行っており、約12年ぶりの全容調査となります。

なお、今回の現地調査にあわせて、一般公開も行います。

※関連は8月3日記者発表済み

《参考》
石井閘門
・明治13年（1880年）に完成し、東北地方開発の拠点として建設を進めた野蒜築港事業の代表的な遺構であり、西洋から取り入れた近代土木技術によるはじめて整備された現在国内で稼働しているものとしては最古の閘門※
・平成14年5月（2002年）に、国の重要文化財に指定
※閘門とは、水位の異なる河川や運河などの間で水位を調節し、航行する船を上下させるための施設

○過去の補修事例
・平成22年に中島閘門（富山市）の門扉交換、塗装等の補修実績がある

■委員による現地調査
平成２４年１２月１８日（火）１０時～１２時予定
２０日（木）１４時～１６時予定
２２日（土）１４時～１６時予定

■現地調査の場所
石井閘門（石巻市水押３－６）

□一般公開日
平成２４年１２月１８日（火）１３時～１６時
１９日（水）　９時～１２時、１３時～１６時
２０日（木）　９時～１２時
２１日（金）　９時～１２時、１３時～１６時
２２日（土）　９時～１２時

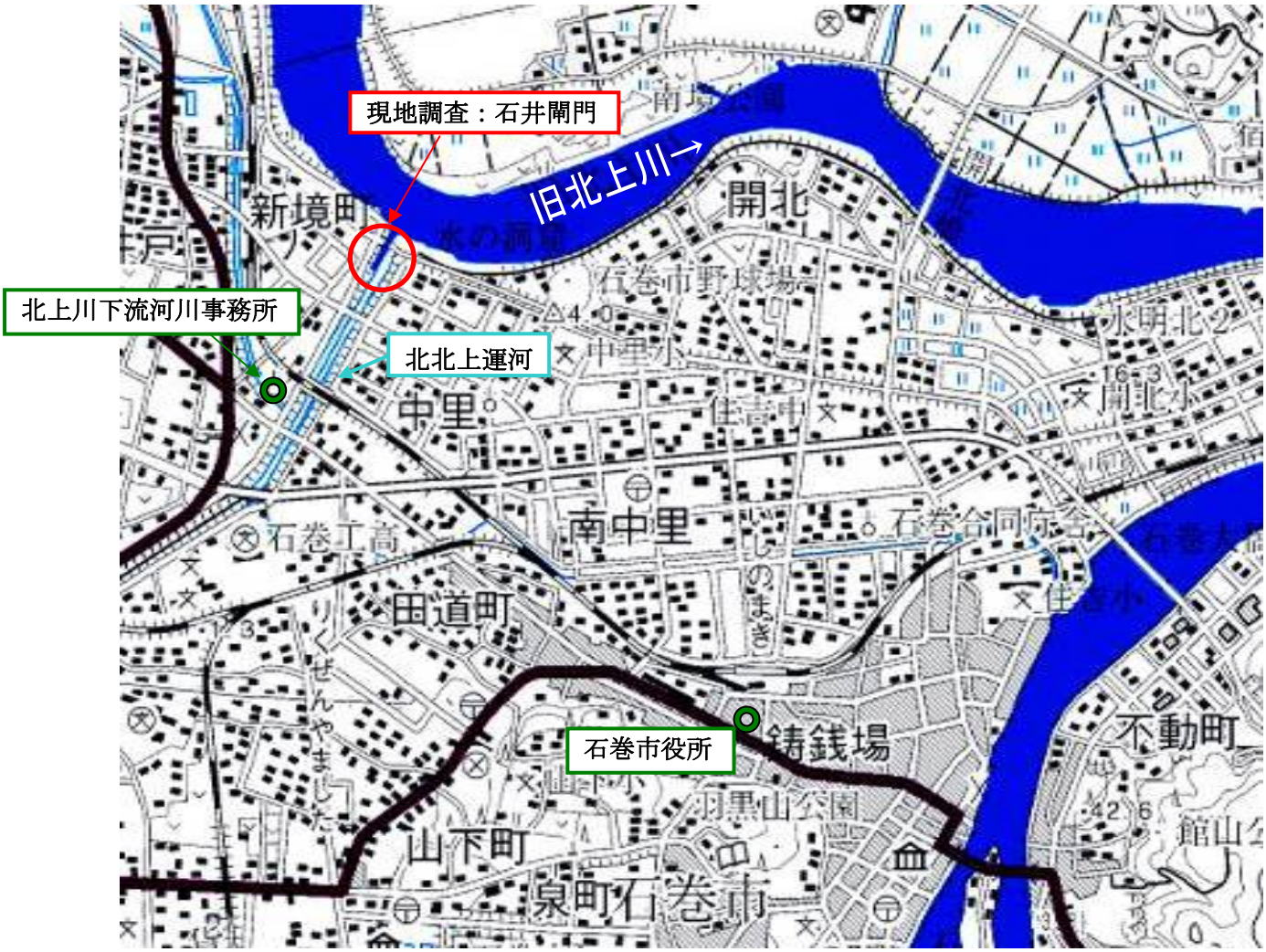
☆　10時、11時、14時、15時から２０分程度、石巻千石船の会の邊見会長より現地ガイドをいただくこととしています。

※気象状況等によっては、調査を延期することがあります

※発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

国土交通省北上川下流河川事務所
石巻市蛇田字新下沼８０
電話０２２５－９５－０１９４（代表）
技術副所長　佐藤（さとう）　伸吾（しんご）（内線２０５）
管理課長　畑山（はたやま）　作栄（さくえい）（内線３３１）

位　置　図



震災前の石井閘門　H17 年 4 月頃

震災直後の石井閘門　H23 年 3 月 14 日

重要文化財「石井閘門」の全容を一般公開します
～約12年ぶりに水抜きを実施～

一般公開日時

平成24年12月18日（火）　13:00～16:00
平成24年12月19日（水）　9:00～12:00，13:00～16:00
平成24年12月20日（木）　9:00～12:00
平成24年12月21日（金）　9:00～12:00，13:00～16:00
平成24年12月22日（土）　9:00～12:00

☆　10時、11時、14時、15時から20分程度、石巻千石船の会の邊見会長より現地ガイドをいただくこととしています。

※　上記時間内に見学していただけますが、危険な場所もありますので、見学に際しては現地係員の指示に従ってください。

≪参考≫

明治13年(1880年)に野蒜築港事業の一環で建設された施設で、現在まで132年供用されている国内で稼働する最古の閘門です。土木技術史上の価値が高いとして、平成14年5月に国の重要文化財に指定されました。

通常時の石井閘門

水替工後の状況（H13.1）

北上川下流河川事務所では、閘門の老朽化及び東北地方太平洋沖地震による津波で被災したことから、『重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会』を平成24年8月に設立して、保全方法等を検討しているところです。今回、上記委員会の一環として、水替（閘室内の水を抜く）を行い、石井閘門全体の調査を行います。
閘室内は普段は水で満たされており、平成13年1月以来約12年ぶりに全容を現わします。
この機会に、地域の方々にも見学していただきたいと思います。

問い合わせ先
〒986-0861　石巻市蛇田字新下沼80
TEL　0225-94-9852
国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
管理課　専門官　三浦　博之（内線414）